

# 北九州市ミュージアム構想「北九州市 時と風の博物館」

## 自治体情報 福岡県北九州市

人口 / 974,691人 標準財政規模 / 250,158百万円

**担当課** 総務企画局政策部企画課  
**電話番号** 直通 093-582-3636  
**実施主体** 北九州市  
**関連ホームページ** <http://www.kitakyushu-museum.jp/>

**事業期間** 平成 23 年度から

**関係施策分類** ①

## 予算関連データ

総事業費：11,600千円 (H23)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	北九州市	11,600

## 施策のポイント

市民自らがわがまち自慢を行い、その取り組みを育んでいくための基盤として、リアルタイムに双方向の情報発信を行う事ができる専用ウェブサイトを開設した。まち全体でシティプロモーションを展開し、にぎわいを創出していく事を目指す。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

本市には、国際的にも認められている環境面の先駆的な取り組み、ものづくりのまちを支えてきた高い技術力、青い海と緑の山々に囲まれた豊かな自然環境、各所に点在する歴史的建造物、地域に根ざした個性的な食文化など、多種多様な魅力（地域資源）がある。

本施策では、市民自らが発掘・再発見した市内各地の地域資源を共有し、さらに市民自らが情報の追加や補足を行うことで、地域資源を磨き上げ、効果的な情報発信につなげていく。最終的には、交流人口の増加、にぎわいの創出をはかる。

その際、まち全体を屋根のない博物館に見立て、様々な地域資源を展示物にたとえる。

### 2. 取組の具体的内容

#### (1) 地域資源の公募

博物館の展示物となる本市の魅力な地域資源を、市内外から広く公募する。

#### (2) 専用ウェブサイトの運用

地域資源の公募や主要な情報発信の場となる専用ウェブサイトを運用する。市民自らが登録した地域資源に対して、参加者相互の情報交換（追加や補足など）が行われることによって展示物はさらに磨き上げられ、効果的な情報発信が行われる。

#### (3) 専用ウェブサイト内展示情報から現地へつなぐ取り組み（リアルとの融合）

時期やトレンド、利用者の関心などを考慮した企画展を専用ウェブサイト内で展開し、例えば参加者の投稿内容を基にしたまちあるきマップなどの媒体へつなげることによって、リアルとの融合をすすめ、交流人口の増加、にぎわいの創出をはかる。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など（具体的な数値目標の設定はなし）

- (1) 市民自らが地域資源を発掘・再発見し、共感や感動を生み出し、その輪を広げる。
- (2) まちを誇りに思う気持ちが生まれ、わがまち自慢の市民ムーブメントの興隆を促す。
- (3) 市民ムーブメントの高まりとともに、まちの魅力を効果的に発信し、都市イメージを構築する。
- (4) 都市イメージの向上によって、本市に対する憧れや期待を創出し、市内外からの交流人口の増加、にぎわいの創出をはかる。

### 4. 現在までの実績・成果

H24年2月から専用ウェブサイトの運用を開始、9月末時点において、550点を超える多種多様な地域資源が登録されており、趣旨に賛同し会員登録を行った利用者数は250人程度である。

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

フィールドミュージアムという考え方を基に、シビックプライドを醸成し、まち全体でシティプロモーションを展開していくためには、どのような手法が効果的であるのか検討を重ねた。そこで、市民自らが参加する基盤を整備し、市民が博物館を育んでいくという手法を実現するために、専用ウェブサイトを開設し、リアルタイムで双方向の情報発信を行うこととした。

### 6. 今後の課題と展開

現在、市内に軸足を置いた活動を展開している。整備した事業基盤、集積した情報やノウハウを活用し、今後は強く市外を意識した取り組みへと発展させていく。にぎわいの創出をはかるために、より効果的な手法を検討し、リアルとの融合を進めていなければならない。